

## 六十数社の役職を辞す

動員兵力百二十万人、戦費十六億円、十万人を超える戦病死者を出して終結した日露戦争は、国力の限界を越え、国民に大きな負担を強いることになりました。

明治三十八年（一九〇五）九月、米国大統領ルーズベルトの斡旋で、ポーツマス条約が結ばれましたが、これを不服として日比谷焼打事件が起こります。病が癒えなかった栄一は、いまや戦勝気分が浮かれています。軍費を削減して民生費に回すべきであり、生糸や綿糸など海外輸出品に対しても政府が十分な保護を与えるべきだと主張します。

同年十月、米国の鉄道王ハリマソンが来日、日本がロシアから譲渡を受けた満州の鉄道について日米共同経営を首相の桂太郎に提案し



▲小村 寿太郎 (1855-1911) (国立国会図書館ウェブサイトから転載) 不平等条約の改正にも尽力

ます。桂はこれを栄一に打診、栄一は大賛成で、ここに桂・ハリマソン覚書が調印となります。ところが条約締結を終えて帰国した外相小村寿太郎が猛反対したことにより、ついに破棄されてしまいます。

この事件は後に日米の間が次第に険悪となる大きなきっかけを作ることにもなりました。

明治四十一年（一九〇九）四月、栄一が相談役を務める大日本製糖株式会社の重役たちや衆議院議員多数が逮捕されるという一大疑獄

事件が起こります。これは砂糖業界に有利な輸入原料戻税の延長を求める同社が衆議院議員多数を買収したことが発覚したもので、同年七月には社長であった酒匂常明がピストル自殺をするに至ります。世間では酒匂を社長に推薦した栄一の責任を問う声も多く聞かれました。

ちょうどこの年栄一は古希を迎えたこともあり、本業である銀行業を除き、ほかの一切の役職を辞する決心をします。東京人造肥料・東京帽子・東京瓦斯・石川島造船所・東京製綱・日本煉瓦製造・磐城炭鉱・帝国ホテル・帝国劇場・日本郵船・大阪紡績・京都織物・京阪電気鉄道・広島水力電気など、六十数社に上りました。

### 物語の手引き

『ポーツマス条約』  
 日本は韓国における日本の優越、関東州租借地（中国・遼東半島）と鉄道などの利権譲渡、南樺太割譲、沿海州沿岸での漁業権付与などをロシア側に認めさせました。しかし、賠償要求に関しては放棄せざるを得ませんでした。

ポーツマスはアメリカ東海岸にある港湾都市です。

『日比谷焼打事件』  
 東京日比谷公園で民衆が警官と衝突し、国民新聞社・内相官邸・市街電車などを襲撃、交番を焼き打ちしました。死者17人、負傷者2,000人、検束者約2,000人を数え、他の大都市にも波及し、全国各地で講和に反対する非講和運動が起きました。

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。

## 笑顔あふれるマルシェ



## 熱・中・時・間

～深谷ななマルシェ事務局長 福山美和子さん～  
(ワーカーズコープ とうふ工房)

11月24日(日)、七ツ梅酒蔵跡地をメイン会場に『第4回深谷ななマルシェ』が開催されます。近隣からたくさんの方のハンドメイド・クラフト作家が集まり、かわいいアクセサリーや小物、お菓子など、さまざまなブースを出店。1日限りの楽しいマルシェ(市場)を出現させます。毎回、地元の飲食店なども出店し、会場は多くの人で埋め尽くされます。

このイベントを立ち上げ、企画運営を行っているのが福山さんです。「七ツ梅の魅力を感じてほしい、人が集まる空間にしたい」という思いで、福山さんは、開催のきっかけをこう話します。

現在では出店者募集を行うと1日ですべて埋まってしまうほどの人気。県外までその名を轟かせています。

多くの出店希望を受ける中でも、福山さんには譲れない思いがあります。それは、イベント後も出店者とお客さんが関係を築いていくこと。交流を目的としているから、出品だけで販売は委託というのはNG。出店も近隣のかたに限っています。

「ぜひ、作家さんたちとのふれあいを楽しんでもらいたい」

ななマルシェには、手作りのぬくもりと新しい出会いがあります。

平成24年5月の第1回開催にあたっては、出店者がなかなか集まらず直接お願いにまわるなど、苦労は絶えなかったといいます。しかし、その苦労をすべて吹き飛ばしてくれたのが、たくさんのお客さんの笑顔でした。回を重ねることになったななマルシェは評判を集め



▲第3回深谷ななマルシェ(5月26日) 80近いブースが所狭しと並びました。

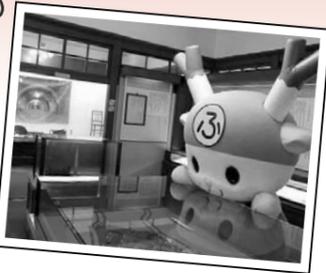
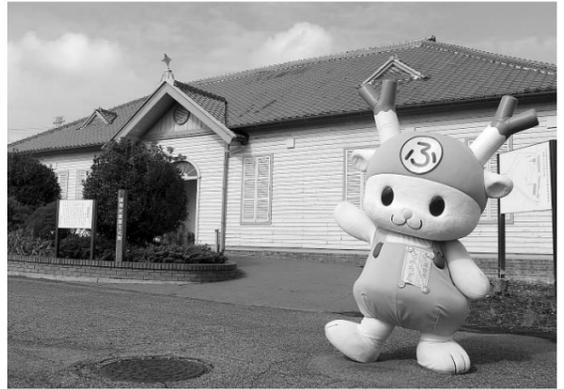
ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

## ふっか散歩



### 旧煉瓦製造施設編

上敷免にある旧煉瓦製造施設に行ってきたよ。この工場で作られた煉瓦は、東京駅とか赤坂迎賓館に使われたんだって。この建物は昔事務所に使われていたところで、国の重要文化財にもなってるんだ。



◀事務所の中は、今は史料館になってるよ。毎週金曜日に公開してるんだ。工場の模型もあって、昔このあたりがどんな感じだったのかがよくわかったよ。深谷で作られていた煉瓦のことも勉強できたし、ぜひ、みんなにも見学してほしいな。



▶あれが、煉瓦を焼く窯から出ている煙突だよ。ホフマン輪窯っていうんだって。いつもは見学できないんだけど、11月10日(日)と12月1日(日)には特別公開されるみたいだから、これは見逃せないね。

ふっかちゃんのつづやき



ゆるキャラグランプリ2013は、11月8日(金)までだよ！最後まで、毎日投票と応援をよろしくおねがします。